

コツコツと始めたい。

つみたて投資の  
はなし。

投資の  
タイミングって  
よく分から  
ないな？



資産は  
増やしたいけど、  
どうすれば  
良いの？



つみたて投資でも  
値下がりしたら  
損しちゃうよね？

あなたの疑問に  
お答えします！



# 資産づくりを始めるときの3つの疑問。

## はじめに

### なかなか投資が 始められない方に

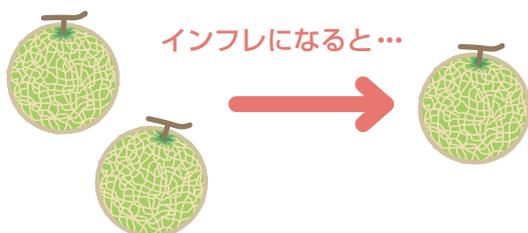
日本では、モノの価格が下がる状態(デフレ)が長く続いていましたが、日銀は日本経済再生のためには、脱デフレが必要としています。

今後、モノの価格が上がる(インフレ)となると、実質的なお金の価値が減ってしまいます。

しかし、超低金利時代が続いており、預貯金からの金利収入だけで資産を増やすのは難しそうです。

そこで、インフレに備えた資産づくりに興味を持つ方が増えてきています。

当資料では、資産づくりの方法の一つである『つみたて投資』を中心にご説明しています。皆さまの資産づくりのヒントになれば幸いです。



インフレになると、今まで買えていたものが買えなくなります。

・上記はイメージです。

疑問

1

資産は増やしたいけど、  
どうすれば良いの？

インフレに備えて、資産を  
増やしたいんだけど、  
どうしたら良いか  
分からないな…



答え

資産づくりのポイントは、  
早く始めることです。

詳しくは3ページへ

ハルキさん



ナツミさん

プロフィール

これから資産づくりを始めたいと考えているハルキさんとナツミさん。資産づくりにはどのような方法があるのか、考えてみたいと思っています。

疑問

2

投資のタイミングってよく分からないな？

投資信託を始めてみようかな。でも、投資のタイミングも分からないし・・・



答え

投資のタイミングが分からずなかなか行動に移せないという方には、つみたて投資が有効です。

詳しくは4ページへ

疑問

3

つみたて投資でも値下がりしたら損しちゃうよね？

つみたて投資って良さそうだな。でも、結局値下がりしたら損しちゃうよね？



答え

投資スタート時の価格に戻らなくても利益が出る場合があります。

詳しくは5～6ページへ

資産づくりの方法の一つである「つみたて投資」について、確認していきましょう。



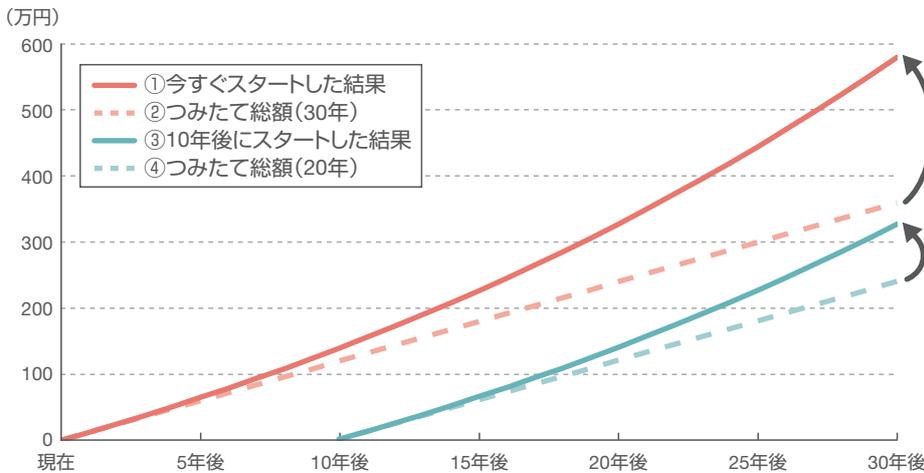
# 資産は増やしたいけど、 どうすれば良いの？



## ポイントは早く始めることです

資産づくりのポイントは、少しでも早く始めることです。早く始めることで運用期間が長くなり、資産をより大きく増やすことが期待できます。

《毎月1万円ずつ投資し、年利3%で運用した場合》



・上記は将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。局面によっては(例えば、ファンドの価格が長期にわたって下降トレンドをたどるなど)、投資成果が期待できない場合があります。  
・計算過程において税金・手数料等は考慮していません。

## 投資信託を活用してみましょう

「投資を始めたいけれど、何から始めていいかわからない」という方には、投資信託を活用する方法があります。

投資信託は、複数の投資家から資金を集めて、運用の専門家が投資家に代わり債券や株式などに投資・運用する金融商品です。値動きの異なる投資先を組み合わせることで、投資のリスクを低くすることが期待できます。

投資信託を活用して、将来に備えた資産づくりを行なってみてはいかがでしょうか。



**将来に備え、少しでも早く資産づくりを始めましょう。**



# 投資のタイミングってよく分からないな？



## 投資タイミングを捉えるのは難しいようです

投資する際は、「安い時に買って、高い時に売りたい」ものです。

しかし、「買った途端に値下がりしたら嫌だな」、「もっと安くないかな」など、投資タイミングに悩み、なかなか始められないという方が多いようです。

安値や高値を見極めて投資するのは困難です。



・上記はイメージです。

## つみたて投資が有効です

投資タイミングに悩んだり、一度にまとまったお金を投資することに迷いを感じるという方には、つみたて投資が有効です。

預金口座からの自動振替などの簡便な方法で、毎月一定額を自動的に積み立てるため、無理なく資産づくりができます。また、月1回など、一定期間ごとに購入するため、自動的に時間分散を実現できます。

「こまめに購入する時間がない」という方や、「手もとにお金があるとつい使ってしまう」という方にもピッタリです。

**ポイント①**

少額からつみたて金額を設定できる。

**ポイント②**

定期的に購入できる。

**ポイント③**

時間分散によるリスク低減が期待できる。

・上記のポイントは一例であり、全てを網羅しているわけではありません。

・当資料では、つみたてを「定期的に一定金額を同一の金融商品に対して継続的に投資していく方法」とします。

つみたて投資はタイミングに縛られることなく、ご自身のペースで無理なく始められます。

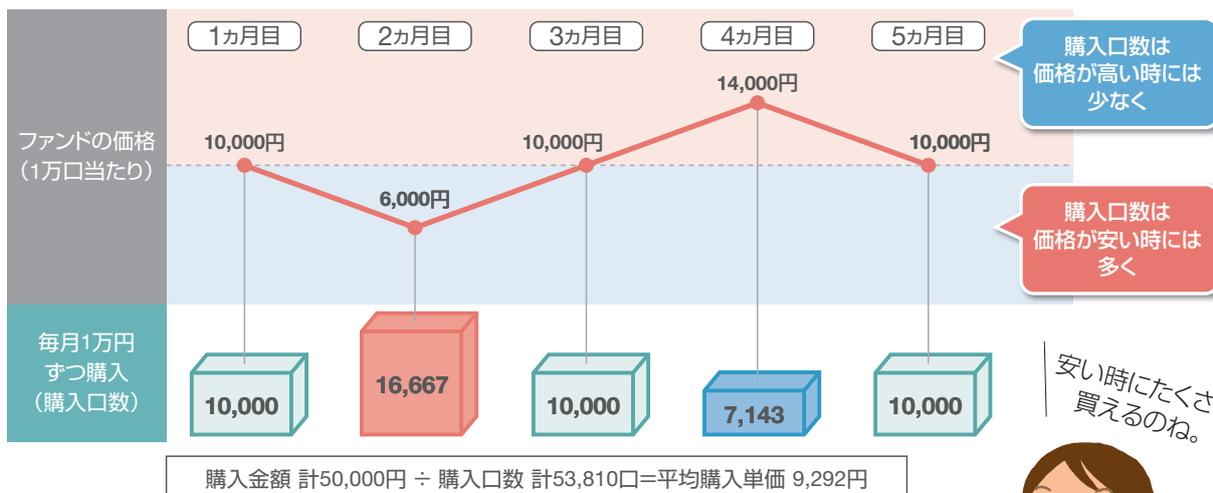


# つみたて投資でも 値下がりしたら 損しちゃうよね？



## その時の価格により、購入できる数量が変わります

つみたて投資は、価格が変動する投資信託などの金融商品に投資するため、毎月同じ金額を投資しても、購入できる数量(口数)が異なります。



・上記は将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。局面によっては(例えば、ファンドの価格が長期にわたって下降トレンドをたどるなど)、投資成果が期待できない場合があります。  
・口数の計算では小数第1位を切り上げ、平均購入単価の計算では小数第1位を四捨五入して算出しています。  
また、計算過程において税金・手数料等は考慮しておりません。実際の算出とは異なります。

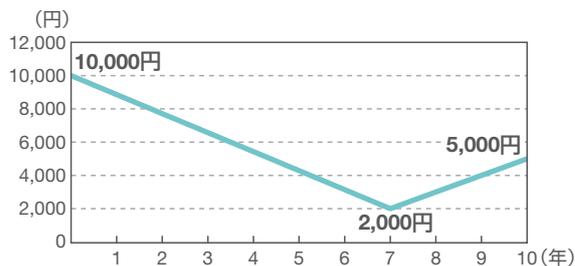


## 「値下がり時の買い増し」がポイントです

### 問題

右記のような値動きの金融商品に、毎月1万円ずつ10年間つみたて投資を行なった場合、つみたて総額は120万円となります。  
10年後のつみたて評価額はいくらになるでしょうか？

- ①約72万円 ②約90万円 ③約139万円



答えは、③約139万円です。つみたて投資の場合、価格が一時的に下落しても「ある水準」まで戻れば、プラスとなります。値下がり時に買い増すことで購入口数が増え、平均購入単価が下がるため、その後の上昇で利益が発生しやすくなります。



### つみたて効果が期待できない場合もあります。

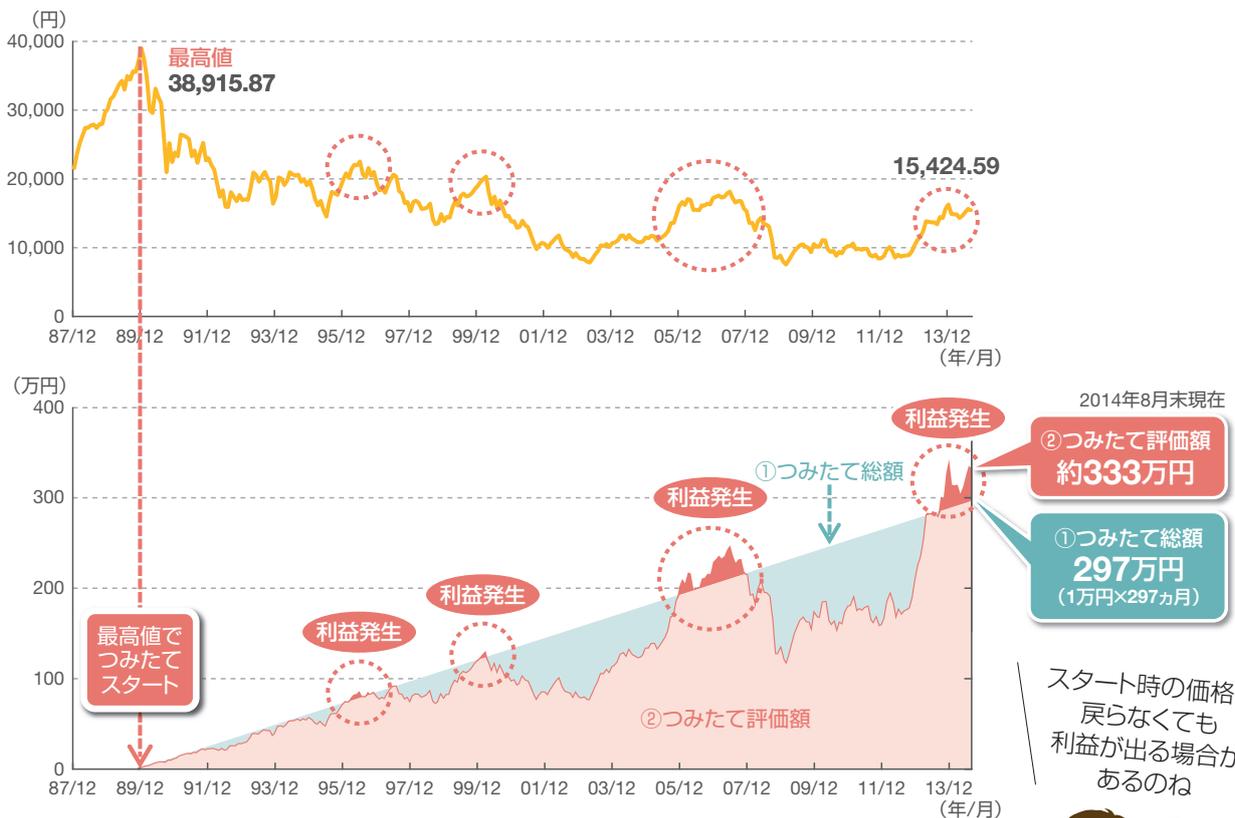
価格が一方方向に上がるとすれば、安いうちに一括で購入した方が良い結果になります。また、値上がりしたあと元に戻ってしまったら、つみたて投資の場合は、損になってしまいます。つみたての効果が出ない場合もあることには、注意が必要です。

## 「安く買って、高く売る」に縛られる必要はありません

日経平均株価は、1989年12月末に最高値の38,915円87銭をつけました<sup>\*</sup>。その後、一度もその価格を上回ることなく、2014年8月末現在は15,424円59銭となっています。 <sup>\*</sup>終値ベース

最高値から毎月1万円ずつ、つみたて投資を始めた場合でも、利益が発生する期間がありました。つみたて投資の場合は、投資の常識「安く買って、高く売る」に縛られる必要はないようです。

《日経平均株価とつみたて評価額の推移》 期間:1987年12月末～2014年8月末、月次



・上記は過去の市場指数を基に野村アセットマネジメントが算出したシミュレーション結果であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。算出過程で取引コスト等は考慮していません。市場指数そのものに投資することはできません。基準価額を日経平均株価と仮定し、当初元本1口=1円として口数を計算しています。  
 「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は、日経平均株価の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。  
 (出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成



## まとめ

金融商品の価格は、上がることもあれば下がることもあり、その度に振り回されては、長期的な資産づくりは難しくなります。

「つみたて投資」を上手に活用して、着実な資産づくりを進めていきましょう。

つみたて投資では投資時期を分散することで、価格の高い・安いに振り回されない資産づくりができます。



# 野村アセットマネジメントからのお知らせ

## ▶ 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

## ▶ 投資信託に係る費用について

2014年10月現在

ご購入時手数料 《上限4.32%(税込み)》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用(信託報酬) 《上限2.1816%(税込み)》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入価値証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断下さい。

商 号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は投資信託についてご説明するために、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料であり、有価証券等の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されていますが、野村アセットマネジメントはその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の野村アセットマネジメントの見解であり、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資信託は、株式・公社債等の値動きのある証券等に投資します(また、外貨建資産に投資する場合にはこのほかに為替変動リスクもあります)ので、基準価額は変動します。したがって元金が保証されているものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。